

先端融合領域イノベーション創出拠点の形成

目的

長期的な観点からイノベーションの創出のために特に重要と考えられる先端的な融合領域において、産学官の協働により、次世代を担う研究者・技術者の育成を図りつつ、将来的な実用化を見据えた基礎的段階からの研究開発を行う拠点を形成する。

対象機関

大学、大学共同利用機関、国立試験研究機関及び独立行政法人（産業界との共同提案を義務化）

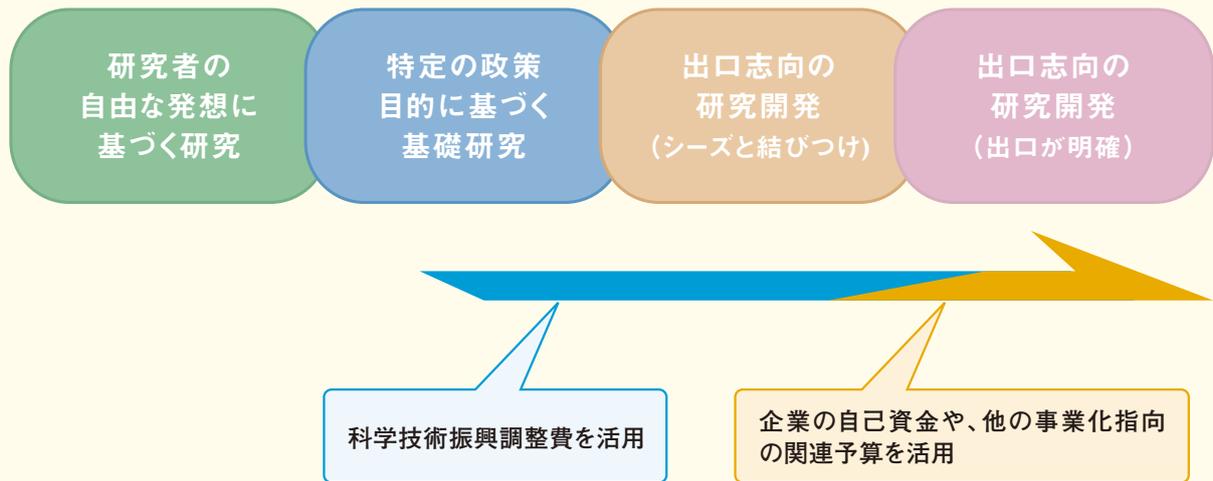
実施期間

原則10年間（当初の3年間は拠点の本格化に向けた絞り込みのための期間として位置付け、3年目に再審査を行い、1/3程度に絞り込みを行う。再エントリーは1回までとする。）

支援の上限

年間5～10億円程度（間接経費を含む） ※ただし、絞り込み期間は3億円程度（間接経費を含む）

基礎研究から出口志向の研究開発までを一貫して推進し、先端融合領域において、大学のシーズを核にイノベーションを実現するシステムを産学協働で実現



目指すべき拠点のイメージとそれを実現するシステム改革

1. 大学・産業界が計画段階から対等の立場で議論、密接に連携・協働

- 大学等を核に、優秀な人材を内外から結集し、産学協働による研究開発・人材育成拠点を形成
- 初期段階から大学・産業界が対等に連携、産業界からの研究資源の提供など応分の負担を含めた明確なコミットメントを原則

2. イノベーションを指向した目標達成型研究開発システムの実現と次代を担う人材の育成

- 産業界が研究資源を出しやすい特別の規則を学長のトップダウンで決定（システム改革を加速）
- 産学間の人材交流も含めた人材の流動化（技術と人の好循環）
- 機関や学問領域を超え先端融合領域を担う人材の育成

3. 不連続なフェーズである「死の谷」の克服に必要なシステム改革を実現

- 産学官の協働体制の下、基礎から応用までを見通した戦略的・組織的な「協働研究体制」を構築

「先端融合領域イノベーション創出拠点の形成」採択課題一覧

■平成18年度採択課題

提案課題名	機関名	協働機関
	総括責任者	
生体ゆらぎに学ぶ知的人工物と情報システム	大阪大学	オムロン(株)、日本電子(株)、日本電信電話(株)、ニプロ(株)、パナソニック(株)、三菱重工業(株)、(株)村田製作所、(株)フロアシスト、関西電力(株)、泉工医科工業(株)、大和ハウス工業(株)、(株)バスカル、(株)ヴィストン(株)、大研医器(株)、シャープ(株)
	鷺田 清一	
高次生体イメージング先端テクノハブ	京都大学 松本 紘	キャノン(株)
少子高齢社会と人を支えるIRT基盤の創出	東京大学 小宮山 宏	トヨタ自動車(株)、オリンパス(株)、凸版印刷(株)、(株)富士通研究所、パナソニック(株)、三菱重工業(株)、森ビル(株)
ナノ量子情報エレクトロニクス連携研究拠点	東京大学 小宮山 宏	シャープ(株)、日本電気(株)、(株)日立製作所、(株)富士通研究所、(株)QDLレーザ
ナノバイオ標的医療の融合的創出拠点の形成	岡山大学	日東電工テクニカルコーポレーション(株)、林原生物化学研究所、イーピーエス(株)、オンコリスバイオファーマ(株)、桃太郎源(株)、(株)島津製作所、(株)医学生物学研究所、日本メジフィジックス(株)
	千葉 喬三	
分析・診断医工学による予防早期医療の創成	名古屋大学	日本ガイシ(株)、オリンパス(株)、富士通(株)、伊藤忠商事(株)、トヨタ自動車(株)、古河電工(株)
	平野 眞一	
未来創薬・医療イノベーション拠点形成	北海道大学 佐伯 浩	塩野義製薬(株)、(株)日立製作所、住友ベークライト(株)、日本メジフィジックス(株)、三菱重工業(株)
半導体・バイオ融合集積化技術の構築	広島大学 浅原 利正	エルピーダメモリ(株)、(株)生体分子計測研究所、(株)サタケ、ローム(株)、マツダ(株)
再生医療本格化のための最先端技術融合拠点	東京女子医科大学	大日本印刷(株)、(株)セルシード、オリンパス(株)
	宮崎 俊一	

※申請順

■平成19年度採択課題

提案課題名	機関名	協働機関
	総括責任者	
コ・モビリティ社会の創成	慶應義塾大学	日本電気(株)、KDDI(株)、沖電気工業(株)、大日本印刷(株)、(株)エフエム東京
	安西 祐一郎	
フォトニクス先端融合研究拠点	大阪大学 鷺田 清一	(株)島津製作所、シャープ(株)、日東電工(株)、(株)三菱化学科学技術研究センター、IDEC(株)
システム疾患生命科学による先端医療技術開発	東京大学	(株)未来創薬研究所、セレクターレキシコ・サイエンシズ社、オリンパス(株)、富士フイルム(株)、HOYA(株)、東レ(株)、積水メディカル(株)、オーダメイド(株)
	小宮山 宏	
マイクロシステム融合研究開発拠点	東北大学	(株)リコー、(株)トッパン・テクニカル・デザインセンター、(株)メムス・コア、(株)北川鉄工所、住友精密工業(株)、トヨタ自動車(株)、日本信号(株)、日本電産コバル電子(株)、日本電波工業(株)、バイオニア(株)、メムザス(株)、(株)豊田中央研究所、(株)ニッコー
	井上 明久	
先端融合医療レドックスナビ研究拠点	九州大学 有川 節夫	(株)島津製作所、日本電子(株)、大鵬薬品工業(株)、田辺三菱製薬(株)、HOYA(株)
ナノテク高機能ファイバー連携・融合拠点	信州大学	金井重要工業(株)、(株)クラレ、住江織物(株)、ダイワボウノイ(株)、東洋紡績(株)、帝人ファイバー(株)、小松精練(株)、テクノス(株)、(株)ミマキエンジニアリング、ルビコン(株)、スター・ジャパン(株)、日本バイリーン(株)
	小宮山 淳	
「光医療産業バレー」拠点創出	(独)日本原子力研究開発機構	浜松ホトニクス(株)、ウシオ電機(株)、(株)東芝、兵庫県立粒子線医療センター、(株)島津製作所、(株)豊田中央研究所、(株)フジクラ、日本アドバンステクノロジー(株)、(有)HOC、HOYA(株)
	岡崎 俊雄	
次世代免疫制御を目指す創薬医学融合拠点	京都大学 松本 紘	アステラス製薬(株)
海域生物工学の戦略的イノベーション創出	東京海洋大学	日本水産(株)、三井造船(株)
	高井 陸雄	

※申請順

■平成20年度採択課題

提案課題名	機関名	協働機関
	総括責任者	
翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成	横浜市立大学 本多 常高	(株)日立ハイテクノロジーズ、(株)島津製作所、(株)メディカル・プロテオスコープ、大鵬薬品工業(株)
光ネットワーク超低エネルギー化技術拠点	産業技術総合研究所 吉川 弘之	日本電信電話(株)、(株)富士通研究所、古河電気工業(株)、(株)トリマティス
バイオプロダクション次世代農工連携拠点	神戸大学	旭化成ケミカルズ(株)、(株)カネカ、月桂冠(株)、コスモ石油(株)、ダイセル化学工業(株)、帝人(株)、長瀬産業(株)、ハウスウェルネスフーズ(株)、Bio-energy(株)、フジッコ(株)、丸善製薬(株)、三井化学(株)
	野上 智行	

※申請順

Q₁

科学技術振興調整費とは、どのような資金なのでしょうか。

A₁

科学技術振興調整費は、総合科学技術会議の方針に基づき、科学技術の振興に必要な重要事項の総合推進調整のための経費として文部科学省に予算計上された、政策誘導型の競争的資金です。このため、第3期科学技術基本計画に掲げられた科学技術システム改革等の政府方針に基づき機動的に対応することとしています。

Q₂

科学技術振興調整費の運用体制について、教えてください。

A₂

科学技術振興調整費の具体的な運営は、文部科学省科学技術・学術政策局科学技術・学術戦略官付（推進調整担当）において行っています。また、独立行政法人科学技術振興機構に、事務の一部を委託しています。

Q₃

科学技術振興調整費で行う科学技術システム改革に係る取組について、実施期間終了後も継続しなければならないのでしょうか。

A₃

科学技術振興調整費によって導入されたシステム改革の取組については、実施機関に定着させることが求められ、日本全体の良き先例として波及して行くことが期待されています。このため、実施期間終了後も、実施機関の努力により、構築されたシステムが継続して実施されることが重要であると考えています。

PD・PO制度・成果について

▶ 科学技術振興調整費におけるPD・PO制度

科学技術振興調整費においては、「競争的資金制度改革について」(平成15年4月21日総合科学技術会議)を踏まえ、平成16年度公募から本格的にPD・PO制度を導入。

■ 科学技術振興調整費におけるPD・POの役割

プログラムディレクター (PD)	
<ul style="list-style-type: none">● プログラムの見直し等の提言● プログラムオフィサー間の調整● 文部科学省(審査部会)に提示する採択課題候補案の決定● 文部科学省(研究評価部会)に提示する評価結果案の決定● PD・PO会議の招集	
プログラムオフィサー (PO)	
(審査)	
<ul style="list-style-type: none">● 審査委員候補者の推薦・調整● 一部の審査WGの運営	<ul style="list-style-type: none">● 審査委員候補者の推薦・調整
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">● 評価委員候補者の推薦・調整● 評価WGの運営● 評価WG委員への情報提供・助言	<ul style="list-style-type: none">● メールレビューアーの推薦● 現地調査・メールレビューアー等の実践・とりまとめ
(課題管理)	
<ul style="list-style-type: none">● 担当課題の進捗状況等の把握、研究者との連絡調整、推進委員会等への参画	

お問い合わせ先

文部科学省 科学技術・学術政策局 科学技術・学術戦略官付(推進調整担当)

〒100-8959 東京都千代田区霞ヶ関 3-2-2 TEL : 03(6734)4017 / FAX : 03(6734)4176

URL http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/chousei/index.htm